

チリ共和国との震災教訓の共有（河北新報社「むすび塾」実施支援）

掲載日:2014年1月11日 (C)河北新報社

(13) 特集 (第3種郵便物認可) 河北 2014年1月11日(土曜日) 平成26年(2014年)1月11日(土曜日)

いのちと地域を守る



「日本は、2011年の震災以降、防災意識が高まり、津波対策や避難所対策など、さまざまな取り組みが行われてきた。しかし、津波の被害は、津波の発生から数分後に発生する。津波の発生から数分後に発生する。津波の発生から数分後に発生する。」



「日本は、2011年の震災以降、防災意識が高まり、津波対策や避難所対策など、さまざまな取り組みが行われてきた。しかし、津波の被害は、津波の発生から数分後に発生する。津波の発生から数分後に発生する。」



「日本は、2011年の震災以降、防災意識が高まり、津波対策や避難所対策など、さまざまな取り組みが行われてきた。しかし、津波の被害は、津波の発生から数分後に発生する。津波の発生から数分後に発生する。」



「日本は、2011年の震災以降、防災意識が高まり、津波対策や避難所対策など、さまざまな取り組みが行われてきた。しかし、津波の被害は、津波の発生から数分後に発生する。津波の発生から数分後に発生する。」



「日本は、2011年の震災以降、防災意識が高まり、津波対策や避難所対策など、さまざまな取り組みが行われてきた。しかし、津波の被害は、津波の発生から数分後に発生する。津波の発生から数分後に発生する。」

■むすび塾に参加して



むすび塾の参加者は東日本大震災の報道写真を見て、避難所を思い出し、多くは女性も。津波で壊れた住宅には、1階が土間と土間に合わせた2階建ての復興住宅が建設された。



津波で壊れた住宅には、1階が土間と土間に合わせた2階建ての復興住宅が建設された。

減災・復興支援機構 木村拓一郎理事長

「むすび塾の意義は、被災地と被災者とのつながりを強め、復興支援のネットワークを構築することです。被災地と被災者とのつながりを強め、復興支援のネットワークを構築することです。」



「むすび塾の意義は、被災地と被災者とのつながりを強め、復興支援のネットワークを構築することです。被災地と被災者とのつながりを強め、復興支援のネットワークを構築することです。」

課題共有 大きな意義



「課題共有の意義は、被災地と被災者とのつながりを強め、復興支援のネットワークを構築することです。被災地と被災者とのつながりを強め、復興支援のネットワークを構築することです。」

車避難 ルール化必要
タルカウノ市

「タルカウノ市は、2011年の震災以降、防災意識が高まり、津波対策や避難所対策など、さまざまな取り組みが行われてきた。しかし、津波の被害は、津波の発生から数分後に発生する。津波の発生から数分後に発生する。」



「タルカウノ市は、2011年の震災以降、防災意識が高まり、津波対策や避難所対策など、さまざまな取り組みが行われてきた。しかし、津波の被害は、津波の発生から数分後に発生する。津波の発生から数分後に発生する。」